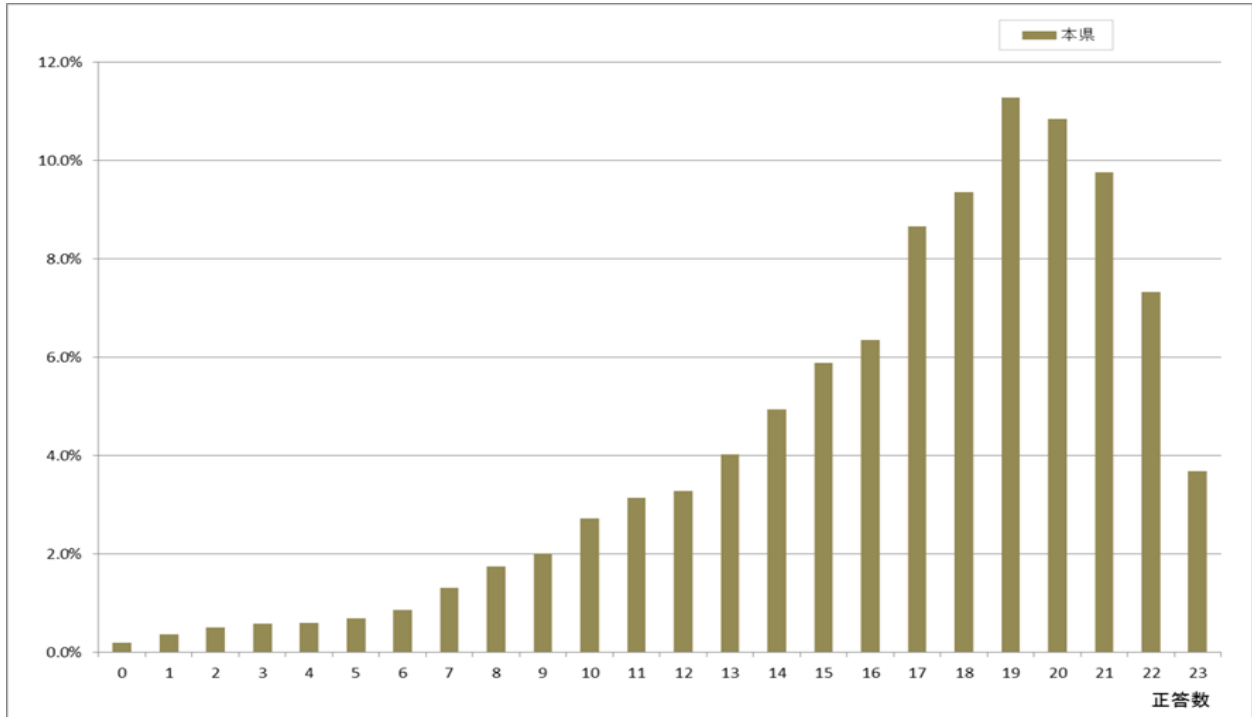


## 平成29年度山梨県学力把握調査結果の分析〔小学校第3学年・国語〕

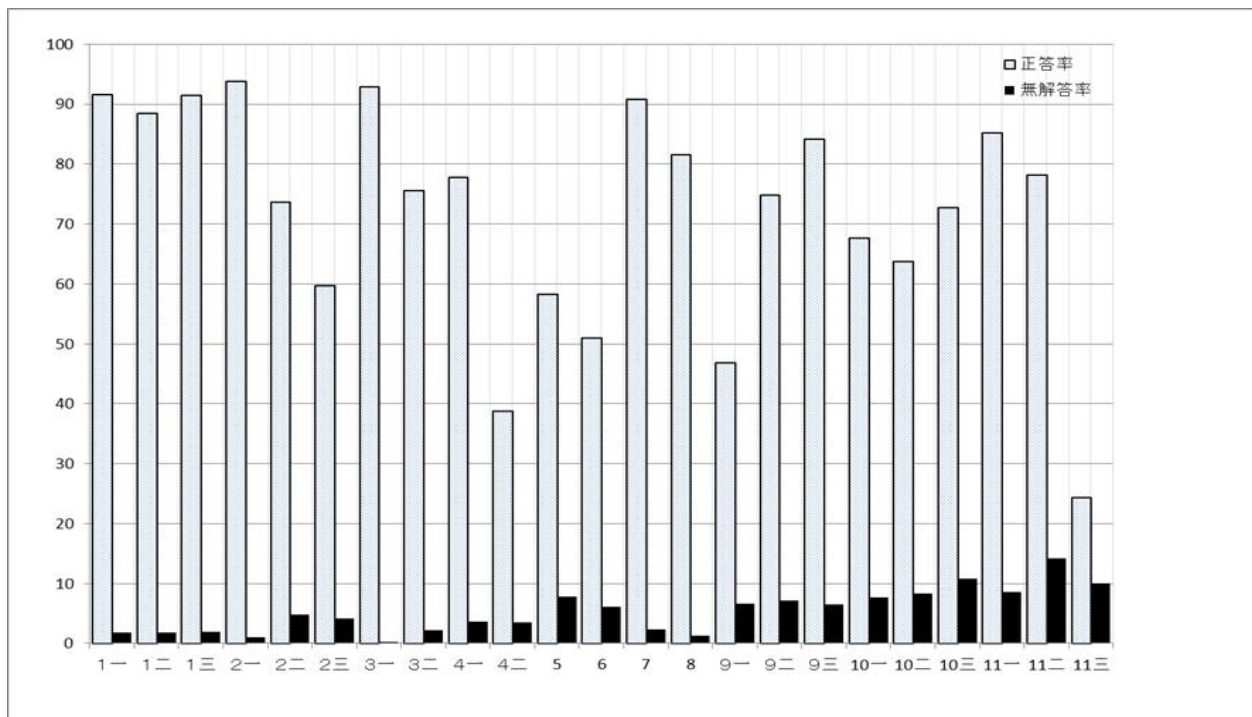
### 調査結果概況

調査人数	平均正答数/設問数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
6426人	16.6 / 23	72.4	18	4.64

【正答数分布グラフ】（横軸：正答数，縦軸：割合）



【設問別正答率・無解答率グラフ】（横軸：設問番号，縦軸：割合）



## 設問ごとの解答状況

## 【解答類型票】

誤答や無解答率が高い設問に着目すると授業改善のヒントが見えてきます！

	設問番号	設問の概要	解答類型（割合）※下線が正答							無解答
			1	2	3	4	5	6	9	
1	1一	漢字を読む(計画を立てる)	<u>91.7</u>	3.1	0.3				3.1	1.8
2	1二	漢字を読む(小麦からパンを作る)	<u>88.5</u>	2.0	0.5				7.3	1.8
3	1三	漢字を読む(兄弟でなかよくする)	<u>91.5</u>	0.3	0.6				5.6	1.9
4	2一	漢字を書く(ゆきがふりつづく)	<u>93.9</u>						5.1	1.0
5	2二	漢字を書く(ひろばであそぶ)	<u>73.7</u>	13.8	2.2				5.4	4.8
6	2三	漢字を書く(えんそくに行く)	<u>59.7</u>	4.1	22.3				9.7	4.2
7	3一	漢字を読む(先生の話を聞く。友だちに電話をする。)	<u>93.0</u>	4.4	1.9				0.4	0.3
8	3二	漢字を読む(親子でキャンプに出かける。親切な人に会う。)	<u>75.7</u>	17.4	2.0				2.7	2.2
9	4一	「お手紙をもらって、がまくんは、とても よろこびました。」の「よろこびました」の主語に線を引く	<u>77.9</u>	0.9	1.4	0.1	0.3		15.8	3.6
10	4二	「かりんちゃんが いすから おりて、すみれちゃんが すわりました。」の「すわりました」の主語に線を引く	<u>38.8</u>	0.7	0.0	42.6	4.6		9.8	3.5
11	5	「～のように(な)」という言葉を使って、短文を書く	<u>58.3</u>	20.6					13.3	7.8
12	6	「この店ではきものを買う。」の意味が「くつやサンダルを買う」こととなるように読点をつける	<u>51.0</u>	36.0	1.7				5.2	6.1
13	7	動物…「ねこ 鳥」となかまの言葉を書く	<u>90.9</u>	5.3	0.0	0.2			1.2	2.3
14	8	「買った」を丁寧な言葉に直す	<u>81.6</u>	2.7	9.9				4.5	1.3
15	9一	話すために必要な材料を選んで、話題を具体化するために適切なものを選ぶ	10.1	23.5	<u>46.9</u>				12.9	6.6
16	9二	聞か人に分かりやすく伝えるための工夫を選ぶ	5.9	2.3	<u>74.9</u>				9.8	7.1
17	9三	発表の終わりとしてふさわしい言葉を考えて書く	<u>84.3</u>						9.2	6.5
18	10一	「はじめ」に書いてある内容として適切なものを選ぶ	<u>67.7</u>	12.9	5.2				6.5	7.7
19	10二	読む人に分かりやすく伝えるために必要な工夫として適切なものを選ぶ	15.0	<u>63.8</u>	7.3				5.6	8.3
20	10三	途中で終わっている「おわり」の部分の続きを考えて書く	<u>72.8</u>	5.3					11.1	10.8
21	11一	主人公が母親に何をもらったか読み取る	<u>85.3</u>	0.1					6.1	8.6
22	11二	□ にどのような言葉が入るか考えて書く	1.6	2.4	<u>78.3</u>				3.5	14.2
23	11三	きつねがぼうしを見せたときの様子を考え、その理由として文章中の言葉をあげる	<u>24.3</u>	25.8	15.3	1.9	0.7	9.2	12.9	10.0

【設問ごとの正答率・過去調査との比較】

正答率の上昇は、どのような取組の成果でしょうか。

過去調査と比べて、正答率は上昇したけれども、依然として正答率が低い設問に対して、これからどのような取組が考えられるでしょうか。

設問番号	設問の概要	領域等	過去調査		H29調査	
			年度	県正答率(%)	県正答率(%)	H29-過去(ポイント)
1一	漢字を読む(計画を立てる)	伝国	H24	88.5	91.7	3.2
1二	漢字を読む(小麦からパンを作る)	伝国	H25	84.6	88.5	3.9
1三	漢字を読む(兄弟でなかよくする)	伝国	H27	87.5	91.5	4.0
2一	漢字を書く(ゆきがふりつづく)	伝国	H24	83.4	93.9	10.5
2二	漢字を書く(ひろばであそぶ)	伝国	H24	83.2	73.7	-9.5
2三	漢字を書く(えんそくに行く)	伝国	H25	62.0	59.7	-2.3
3一	漢字を読む(先生の話聞く。友だちに電話する。)	伝国	H23	62.6	93.0	30.4
3二	漢字を読む(親子でキャンプに出かける。親切な人に会う。)	伝国	H23	65.9	75.7	9.8
4一	「お手紙をもらって、がまくんは、とてもよろこびました。」の「よろこびました」の主語に線を引く	伝国	H24	73.5	77.9	4.4
4二	「かりんちゃんが いすから おりて、すみれちゃんが すわりました。」の「すわりました」の主語に線を引く	伝国	H26	18.9	38.8	19.9
5	「～のように(な)」という言葉を使って、短い文を書く	伝国	H24	62.6	58.3	-4.3
6	「この店ではきものを買う。」の意味が「くつやサンダルを買う」ことになるように読点をつける	伝国	H26	40.6	51.0	10.4
7	動物…「ねこ 鳥」となかまの言葉を書く	伝国	H25	78.6	90.9	12.3
8	「買った」を丁寧な言葉に直す	伝国	H26	71.6	81.6	10.0
9一	話すために必要な材料を選んで、話題を具体化するために適切なものを選ぶ	A	H23	71.0	46.9	-24.1
9二	聞く人に分かりやすく伝えるための工夫を選ぶ	A	H23	83.3	74.9	-8.4
9三	発表の終わりとしてふさわしい言葉を考えて書く	A	H23	75.0	84.3	9.3
10一	「はじめ」に書いてある内容として適切なものを選ぶ	B	H26	76.4	67.7	-8.7
10二	読む人に分かりやすく伝えるために必要な工夫として適切なものを選ぶ	B	H26	77.1	63.8	-13.3
10三	途中で終わっている「おわり」の部分の続きを考えて書く	B	H26	80.1	72.8	-7.3
11一	主人公が母親に何をもらったか読み取る	C	H25	94.6	85.3	-9.3
11二	□ にどのような言葉が入るか考えて書く	C	H25	84.8	78.3	-6.5
11三	きつねがぼうしを見せたときの様子を考え、その理由として文章中の言葉をあげる	C	H25	24.5	24.3	-0.2

＜領域等＞A：話すこと・聞くこと B：書くこと C：読むこと 伝国：伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

\* 設問9一は、H23年度の調査問題を改変した設問のため、過去調査の正答率との比較はできません。

# 課題のある設問の分析

この設問を課題として挙げた理由


- ・ 正答率が24.3%と低い。
- ・ 過去調査と比べて、正答率が上がっていない。

<読むこと> 問113

「それ、あたしのぼうしよ。」  
きつねの頭をゆびさして、えつちゃんと言いました。  
すると、ふりむいたきつねは、すましてこたえました。  
「ぼくのだよ。」

「あたしの名前が書いてあるわ。  
名前を見てちょうだい。」  
きつねは、しゅしゅぼうしをぬいで、名前のところを見せました。  
「ぼうら、ぼくの名前だよ。  
の、は、ら、こ、ん、き、ち。」

(あまんきみこ  
「名前を見てちょうだい」より)



三 きつねが、ぼうしを見せたときのようすをあらわすことばを、次の1から3までの中から一つえらんで、番号を書きましょう。また、それをえらんだ理由が分かることばを、文しゅうの中からぬき出しなす。

1 しかたなきさそうに  
2 はずかしそうに  
3 ねむそうに

【理ゆう】  
文しゅうの中の  
とことばから、きつねがぼうしを見せたときのようなすが分かります。

- 正答 1 【理ゆう】しゅしゅ
- 正答率 24.3% (24.5% H25)
- 無解答率 10.0%
- 誤答について
  - ・ 類型2 1を選んでいるが、「しゅしゅ」以外の言葉を抜き出している **25.8%**
  - ・ 類型3 1を選んでいるが、文章中の言葉以外の言葉を使っている **15.3%**
  - ・ 1を選んでいる児童は65%いるので、想像を広げて読むことはできているが、誤答の類型2の反応率が25.8%と高いことから、物語の中の言葉から登場人物の行動を把握した上で、その様子を想像することができていない。
  - ・ 児童の体験や読書経験などから想像を広げて読むことは行われているが、どの叙述からどのように想像したのかを明確にしたり説明したりする学習が十分に行われていない。

## 授業改善のポイント

「どこからそう思うの」という問いかけで、想像したことや考えたことの根拠となる叙述を明確にする。

### これまでの学習で

この学習で必要となる内容や考え方は何でしょうか。

低学年では、物語の場面の様子や登場人物の行動を読み取った上で、自分の経験や知識と結び付けて、その様子を豊かに想像しながら読むように指導することが大切です。

授業の中で、「どこからそう思うの」という意図的な対話を通して、自分の想像が物語の中のどの叙述から広がったのかを、線を引いたり書き抜いたりして確かめる学習を丁寧に行いましょう。

### これからの学習で

これから学習するどの単元と関連があるのでしょうか。学習した内容や考え方は、今後どの学習で生かされるのでしょうか。

物語を読んで感想や考えを伝え合う授業はよく行われます。中・高学年においても、教師が「どこからそう思うの」(根拠)、「どうしてそう思うの」(理由付け)という問いかけの意図を明確にして指導することが大切です。

また、ペアやグループで発表し合う場面でも、根拠となる叙述や理由を基に対話し、考えが広がり深まったりすることで、「伝えたい」「伝えてよかった」と実感できる授業にしましょう。